



# まちづくり推進隊

平成20年12月、三豊市新総合計画が策定されました。  
そこでは  
まちづくりの基本理念は「自主・自立」  
まちの将来像は「『豊かさ』をみんなで育む 市民力都市・三豊」  
と定められています。

市民力とは「市民にできることは市民自らが行う」ということ。  
これからは市民自身が活躍する時代だと考えて公表した計画が  
5年経った今、現実のものとして動き出しています。

法律に規定されない業務を市から移譲され  
交付金の中で地域のために自由な活動を行う団体。  
それが、皆さんの地域にある「まちづくり推進隊」です。

やりたい人が、やりたいことをしましょう  
がんばりすぎず、楽しくやりましょうを合言葉に  
発足して1年経った今  
推進隊はどのような活動を行っているのでしょうか。

みとよんと学ぶ

先手の防災

緊急地震速報が放送されたその時！  
の対応を学びます。

M's Lesson ⑥

もしあなたが 飲食店にいた なら

- テーブルなどの下にもぐり、かばんや衣類で頭を保護しましょう。
- 窓際の席にいるときは、ガラスの破片が飛び散る危険性があるので、中央か出口付近へ移動しましょう。
- 鍋や焼き肉などテーブルの上で火を使っている場合は、すみやかに火を消しましょう。

三豊市の人口 ※平成26年8月1日現在 ( )内は前月比  
世帯数 23,334 世帯(+17) 総人口 66,319 人(-42) 男 31,591 人(-8) 女 34,728 人(-34) ※香川県人口移動調査による

## 広報 みとよ 9月号 平成26年 目次 contents

- 3 特集 まちづくり推進隊
- 12 M's Information みとよくらしのおしらせ①  
敬老祝金 / 福祉タクシー券 / 支所の宿日直廃止
- 13 新浦島伝説 アート体験 in 箱浦
- 14 みとよHOT ほっとNEWS(ホットニュース)
- 16 M's Information みとよくらしのおしらせ②  
かがわマンモグラフィサnder / 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種 / 健康診査・がん検診 / 住宅耐震対策 / フルーツリキュール特区認定 / 仁尾八朔人形まつり / かがわ島フェスタ2014 / 七福求めてぶら〜りみとよ / 国民年金
- 21 M's 深読みひろば  
じんけん探訪 / 文化財
- 22 9月のお知らせ  
募集 / 相談 / 講座・教室 / イベント / 納税のお知らせ / マリンウェーブ情報 / 国際交流協会
- 25 保健・相談
- 26 ここ笑み通信 ~子育てするなら三豊が一番！~  
朝ごはんレシピ / 児童手当現況届 / イクメンプロジェクト / 保育士・看護師募集 / M's Smile ふおとぎやらしい / 乳幼児健診 など
- 28 みとよ写真帳 / 編集後記



## 表紙 今月の市民力



マリーゴールドに葉ボタン、パンジー、サルビア……。まちづくり推進隊豊中の地域交流部会の皆さんは、訪れる人が季節ごとに色とりどりの花を楽しめるよう、会員の庭で大切に育てた苗を不動の滝カントリーパークに植えています。  
この日植えたのは、162本の黄色いマリーゴールド。「どこに植えるんな？」「肥料は先にやるんな？」太陽がキラキラと照りつける中、みんなワイワイ話しながら苗を植えていきます。「不動の滝を花でいっぱいにして、お客様に喜んでいただきたい」。みんなが心を一つにして作業に取り組んでいます。

4月から不動の滝カントリーパークの指定管理者になったからこそできる活動。推進隊の皆さんは「たくさんの人に来てもらうことが、地域の活性化につながる」という理念のもと、自分たちにできることを考え、自主的に楽しく活動しています。



パーク内の遊休地に植えたオリブを利用したイベント、地域の特産品を販売する「暮らし広場」など、施設を利用してくれる人を増やすため、会員みんなで活動に取り組んでいます。

推進隊が指定管理者になって、一番大きく変わったことは、利用者から利用料金を徴収することです。市が管理していたときは、ほとんどの団体が減免により無料で利用していました。これが、10月からは誰が利用しても利用料金が必要になります。このことについて、理事長の藤田さんは、こう言います。

「利用料金をいただくことに対して、今まで無料で利用していた人から、反対の声はありませんでした。市民の税金で活動をしているのだから、本当にこれでいいのかという気持ちを、常に持つていなくてはなりません。これからも利用者の意見を聞きながら、コスト意識を持って、活動していきたいと思っています」

時代は大きく変わりました。地域の活性化のために、自分たちで施設を管理・運営していくことを決めたまちづくり推進隊豊中の皆さん。今後の活躍が楽しみです。

①肉もつそを作る推進隊豊中の皆さん ②6月25日に行われた指定管理引き継ぎセレモニー。市長や利用者など約80人が参加 ③土足で利用できるよう敷かれた玄関マット



# 推進隊だからできること

地域のことは、推進隊が一番よく知っている  
だからこそ、新しいアイデアが生まれてくる

## 地域が変わる 自分たちで変える

まちづくり推進隊  
豊中

今年の4月1日から、豊中コミュニティセンターと不動産の滝カントリパークの指定管理者となつたまちづくり推進隊豊中。彼らが施設の管理・運営をするようになって、いろいろな変化が出てきました。

まず変わったのはコミュニティセンターの玄関。それまでは玄関でスリッパに履きかえていましたが、高齢者の利用が多いため、マットを敷いて土足で利用できるよう配慮しました。

施設の清掃も、以前は業者に委託していましたが、今は推進隊が担当しています。

### コミュニティセンター 利用者の声

松寿会料理部会代表  
堀川富子さん

「あっ！げた箱がなくなつとる！」  
これが私の第一声でした。今までは靴を脱ぐのが当たり前だったので特に何とも思わなかったけれど、いざ土足でよいとなると、これはすごく便利！お年寄りには楽になったと思います。

改善してほしい点は、調理室の備品が少ないこと。大勢で使うので、もう少し補充してほしいです。



10月の栗島でのイベントに向けて話し合いをする推進隊託問の皆さんと久保田さん(手前右)

## 地域のお助けマン それがまちづくり推進隊

まちづくり推進隊  
託問

他の推進隊に先駆けて、平成24年4月1日に発足したまちづくり推進隊託問。2年が過ぎ自主事業も軌道に乗り、地域の中にも推進隊の活動が浸透してきています。

モデル地区として設立された当初は、市からの移譲業務を行うのに一生懸命。地域の人に「市ではできないことも推進隊ならやってくれる」と思ってもらえるよう、市よりも一つ上のサービスを目指して取り組んできました。

半年間は自主事業まで考える余裕がありませんでしたが、今後の活動の計画を立てるにあたり、会員から部会を立ち上げて取り組もうという声があり、安全度向上、健康度向上、魅力度向上の3つの部会ができました。長い目で地域を考えるともらえるよう、各部会の長には若い人を抜擢し、地域の声を聞きながら活動しています。

今年の特徴的な事業は「漂流郵便局支援事業」。昨年の瀬戸内国

際芸術祭で開局した漂流郵便局を訪れる人に、それだけじゃない栗島の魅力を伝えるため、さまざまな企画を考えて運営しています。

島民手作りの栗島ガイドブックを発行するだけでなく、10月には作品を手掛けたアーティストの久保田沙耶さんと一緒にイベントも行う予定です。たくさんの方に島を知ってもらうことが町全体の活性化につながると考え、積極的に活動しています。

他にも、いろいろな団体が行う活動を応援したり、自治会や民生委員と連携して住宅火災警報器や住宅用消火器の設置を推進するなど、他の団体と協力しながら活動の場を広げています。

次の課題として、環境や福祉への取り組みも提案しています。理事長の宮川さんは「推進隊は一人暮らしなどで困っている高齢者を助ける『お助けマン』のような存在。その人のニーズにあった応援を考えていきたいです」と新たな取り組みに意欲を燃やしていました。

まちづくり推進隊託問の皆さんは、心豊かな住みやすいまちづくりを目指して、熱い思いで活動に取り組んでいます。



7つの町に1つずつあるまちづくり推進隊  
名前は聞いたことあるけど……  
いったい何しよん？  
誰がしよん？

そんなあなたの疑問にお答えすべく  
各推進隊の概要について紹介します

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 会員数   | 平成26年8月1日現在の会員数                |
| 交付確定額 | 平成25年度に市から推進隊に<br>交付された交付金の確定額 |
| 事業    | 推進隊で行っている主な事業                  |
| 目玉事業  | 推進隊で特に目玉事業として<br>取り組んでいるもの     |

まちづくり推進隊 高瀬

|     |                                                           |       |            |
|-----|-----------------------------------------------------------|-------|------------|
| 会員数 | 114人                                                      | 交付確定額 | 9,837,480円 |
| TEL | 73-3410                                                   |       |            |
| 理事長 | 高木知巳                                                      | 副理事長  | 大平淳子 高嶋和弘  |
| 理事  | 中西節夫 豊嶋憲一 宮崎史郎 松本鐵也 河野博<br>近藤光子 川江秀樹 小野秀樹 青野秀清            |       |            |
| 監事  | 森英司 亀井良二                                                  | 事務局長  | 宮崎史郎       |
| 事業  | 男女共同参画、虫の里づくり、安全・安心防<br>災事業、高瀬百景、楽しい農村づくり、里山<br>愛好会など11事業 |       |            |

**目玉事業** 健康づくり応援団  
幼児から高齢者に至るまでの健康づくりのため、予防の話を聞いたり、ヨガや鍼灸によって体をほぐしたりして、医療に頼らず元気な体で楽しい生活を送るお手伝いをする。



ヨガで体すっきり。気持ちも明るく、元気になります。

特定非営利活動法人  
まちづくり推進隊 豊中

|     |                                                 |       |            |
|-----|-------------------------------------------------|-------|------------|
| 会員数 | 71人                                             | 交付確定額 | 9,252,340円 |
| TEL | 62-5210                                         |       |            |
| 理事長 | 藤田芳廣                                            | 副理事長  | 森健 近藤八重子   |
| 理事  | 大森士郎 近藤恵子 大西元子 千秋泰啓<br>藤田薫 金子忠弘 野田卓三 島崎ふみ子      |       |            |
| 監事  | 三野求 十川剛                                         | 事務局長  | 横田あゆみ      |
| 事業  | 中・長期まちづくり計画の策定、自主防災訓練用資器材の貸し出しおよび訓練、豊中町の名産づくりなど |       |            |

**目玉事業** 豊中コミュニティセンター・不動の滝カントリーパークの維持管理(指定管理者)  
施設および公園の管理運営や環境整備を行い、地域住民の交流の場としての利用促進を目指す。



不動の滝で行われたイベント。これからのまちの発展に力を入れてほしい。

特定非営利活動法人  
まちづくり推進隊 詫間

|     |                                                   |       |             |
|-----|---------------------------------------------------|-------|-------------|
| 会員数 | 73人                                               | 交付確定額 | 12,361,804円 |
| TEL | 83-3639                                           |       |             |
| 理事長 | 宮川正夫                                              | 副理事長  | 江頭昌道 谷口勝久   |
| 理事  | 板倉順子 小国豊登 小林寛司 椎野貴士 辻幸子<br>曾根利幸 田中達也 本田進 森伸男 矢野太一 |       |             |
| 監事  | 石丸昭江 則比重文                                         | 事務局長  | 富山豪         |
| 事業  | ラジオ体操普及事業、住宅用消火器設置推進事業、自主防災活動推進事業、花いっぱい活動推進事業など   |       |             |

**目玉事業** 漂流郵便局支援事業  
届かないと分かりながら書く手紙が流れ着く漂流郵便局。日を追うごとに増える訪問者に粟島の魅力を伝え、知名度の向上を図り、地域の活性化を目指す。



来島者の道しるべ「あわしま歩き遊覧」。好評につき増刊します。

特定非営利活動法人  
まちづくり推進隊 山本

|     |                                                              |       |            |
|-----|--------------------------------------------------------------|-------|------------|
| 会員数 | 45人                                                          | 交付確定額 | 8,362,543円 |
| TEL | 63-1501                                                      |       |            |
| 理事長 | 藤田等                                                          | 副理事長  | 近藤雅春 圖子鎮雄  |
| 理事  | 岩倉道夫 中西克人 永田剛之 藤原啓子<br>藤田穂 藤川香織 小野洋二 高橋寛栄<br>森善四郎 近藤クミ子 岩本忠博 |       |            |
| 監事  | 白川晶弘 秋山章裕                                                    | 事務局長  | 片山幸男       |
| 事業  | ヨガ教室、麵打ち教室、立石山登山道整備活動、粗大ごみ持ち込みお手伝い、元気会送迎支援など                 |       |            |

**目玉事業** 健康課と協働活動  
健康を住民の視点で捉え活動。今年度は健康課との協働で、住民の健康の課題解決方法を見出す。



7月14日に行われた山本町の健康を考える集い。町の現状について話し合いが行われました。

まちづくり推進隊 三野

|     |                                                  |       |             |
|-----|--------------------------------------------------|-------|-------------|
| 会員数 | 85人                                              | 交付確定額 | 10,593,306円 |
| TEL | 73-6228                                          |       |             |
| 理事長 | 長尾眷三                                             | 副理事長  | 青井高志 井本由紀子  |
| 理事  | 小野紀久子 香川千寿 関子邦彦 関隆夫<br>関博 西川正明 前田高次              |       |             |
| 監事  | 松岡茂利 丸岡英明                                        | 事務局長  | 河村美穂        |
| 事業  | ノルディックウォーキング、みの生活カレンダー、高齢者元気講座、お助け隊、つくるフェスティバルなど |       |             |

**目玉事業** ズイナの苗贈呈  
子どもたちに将来の夢を持ってもらうため、希少糖が含まれる夢の糖と言われるズイナの苗を、町内の小中学生に贈る。



香川大学特任教授の何森先生を招いて、苗の贈呈式が行われました。

まちづくり推進隊 仁尾

|     |                                           |       |             |
|-----|-------------------------------------------|-------|-------------|
| 会員数 | 63人                                       | 交付確定額 | 10,419,026円 |
| TEL | 82-5207                                   |       |             |
| 理事長 | 西山弘茂                                      | 副理事長  | 喜田信吾 森一恵    |
| 理事  | 石井章代 岡田龍宗 河田裕二 小山雅司<br>中村和良 吉田誉範 渡邊究      |       |             |
| 監事  | 鴨田猛彦 藤田京子                                 | 事務局長  | 浪越理奈        |
| 事業  | 仁尾歴史文化資料整理事業、地域避難訓練、すくすく仁尾っ子シアター、鳶島再生事業など |       |             |

**目玉事業** 地域の学生との交流事業  
普通寺第一高校デザイン科とタイアップし『仁尾のまち活性化プロジェクト』が発足。鳶島観光看板のデザインをはじめ、現在は仁尾八朔人形まつりに向けて、準備が進んでいる。



高校生の柔軟な発想で、より魅力的な仁尾町に。

特定非営利活動法人  
まちづくり推進隊 財田

|     |                                           |       |            |
|-----|-------------------------------------------|-------|------------|
| 会員数 | 47人                                       | 交付確定額 | 7,614,214円 |
| TEL | 67-3790                                   |       |            |
| 理事長 | 秋山秀和                                      | 副理事長  | 鈴木朝則 近藤美代子 |
| 理事  | 伊藤勝 久保義博 白川洋二 秋山勇 中原優季<br>谷邦男 小野詔子 川崎保彦   |       |            |
| 監事  | 前田昭文 菅原順三                                 | 事務局長  | 久保義博       |
| 事業  | 財田町の案内板づくり、農業を考える会、財田のむかし話絵本づくり、芸術士派遣事業など |       |            |

**目玉事業** 財田「さくらの郷」計画  
活動拠点の1つであり、謎の丞まつりの会場でもある戸川ダム公園と塔重山公園を、たくさんの方が集い憩う、和と輪の「さくらの郷」にするため、住民自ら活動している。



2月15日に実施した桜の植樹。大雪にもかかわらず約40人が参加しました。



# やりたい人が やりたいことをしましょう



まちづくり推進隊財田  
副理事長 近藤 美代子さん

「井本」推進隊って、何？という声を多く耳にします。PR不足だと思いますが……。

また、三野では現在、理事が先導して事業を行っています。本来は会員から「こんなことをしたらどうか」という声があがって、自分たちで取り組めるのが理想だと思います。

**近藤** 財田も、地域の人の推進隊に対する関心が薄いと思います。推進隊に頼らなくてもやっていくという意識があるのだと思います。

また、高齢者もみんな現役で畑仕事をしていますから、ボランティアで参加をお願いするのは言いにくい。有償ボランティアでの活



出席者：横山市長、高木知巳さん（高瀬）、藤田等さん（山本）、井本由紀子さん（三野）、藤田芳廣さん（豊中）、宮川正夫さん（詫間）、西山弘茂さん（仁尾）、近藤美代子さん（財田）

「これから自分たちの住む地域を、どのようにしていきたいか」をテーマに市長と各まちづくり推進隊の代表による座談会が7月15日に開催されました。会は約2時間にわたり行われ、現在推進隊が抱えている問題点や今後の展望などについて、活発な意見が交わされました。紙面の都合上、すべて掲載することはできませんが、推進隊の皆さんが今感じていることをご紹介します。

動を考えていかなければならないと思います。

**市長** 推進隊は自由に活動をしていただいよいと思います。受益者には費用を負担していただいて、その中から少しでも活動をしている人にお金を払う。有償でない、いい活動であっても継続させるのは難しいと思います。

**井本** 一番大きな問題は、既存の団体とのかわり方です。推進隊で何か新しい取り組みをしたくても、他の団体がすでにやっていることがある。どのようにすれば、お互いが協力してうまくやっていけるか。

**藤田等** 活動すればするほど、問題が出てきています。特に公民館の活動と重なることが多くありますが、お金との兼ね合いもあり、推進隊が活動するにはさまざまな制約があると感じます。

でも、他の団体との連携なくしては何もできない。お互いの関係の中でやり方を変えていかないと、推進隊の活動が広がっていかないと、思います。

**市長** 昔は公民館活動を行政が支援して、生活のレベルを上げようとしていました。それが今も残っ

## 見えてきた問題点

**市長** まちづくり推進隊の地域におけるさまざまな活動については、本当に感謝しています。ありがとうございます。今日は、皆さんが日ごろ活動を行う中で感じていることを、ざっくりばらにお聞かせいただけたらと思います。

まず、推進隊が発足して1年以上になりますが、ここは問題だなと感じるところはありますか。

**宮川** 詫間は推進隊が発足して2年が過ぎました。以前より理事を3名増やして体制を強化し、3つの部会がそれぞれ自主的に活動しています。

ただ、自主事業においては無理な計画を立てないようにしています。発想はよくても実現が難しい



まちづくり推進隊詫間  
理事長 宮川 正夫さん



まちづくり推進隊山本  
理事長 藤田 等さん

ているんだと思います。

公民館活動は法律に縛られますが、推進隊は自由に活動ができる。それぞれ制度が違うので難しいところはあると思いますが、推進隊がもっと力をつけてきたところで、公民館と話し合いをすればよいのではないのでしょうか。

## これからの推進隊には 何が必要か

**市長** 今後、推進隊で考えていかななくてはならないことは、どんなことだと思いますか。

**近藤** 今まで町を支えてきた人が高齢になってきているのですが、その下の私たちの世代は仕事も忙しく、自分たちの生活で頭がいっぱい。地域全体が見えていないの



ではないかと思えます。今後、地域をどうやって支えていくかについて、考えていかななくてはならないと感じています。

また、地域の人が集まる場が減り、横のつながりが少なくなってきたように思います。もっとみんなで助け合って、安心できるまちづくりをすることが大切です。推進隊が、その一翼を担っていきたいと思っています。

**藤田等** 山本では、すべての住民が社会の支えになっていく、持続可能な健康長寿社会を目指しています。

若い人たちには仕事を一生懸命にやっていただき、子どもたちのお世話は推進隊がお手伝いする。また、介護の面でも、さまざまな制度から漏れる人については推進隊がバックアップする。各分野で



まちづくり推進隊三野  
副理事長 井本 由紀子さん

推進隊に何ができるか今から考えて、地域を支えていくことができたらと思っています。

**井本** 三野では希少糖を利用した事業を行っています。これについては市内の他町の皆さんに協力をいただいています。だから、三野町も他町のまちづくりに協力していきたいと思っています。同じ市なので、もっと各推進隊の間で協力体制があってもいいと思います。

三野では8月2日に防災講演会を開催します。東日本大震災の被災地である岩手県野田村と交流する中で、今後の参考になればと思いい講演をお願いしましたが、来ていただくには交通費や宿泊費などの費用がかかります。そんな時、他町の推進隊と一緒にすれば、少ない負担で、もっと内容の濃いものができるのではないかと思います。

### 私たちの地域には 何もない？ 本当に？

**西山** 仁尾では、子どもの健全育成、子どもが主役になれる町を目



まちづくり推進隊仁尾  
理事長 西山 弘茂さん

指しています。大学進学などで町の外に出ても、地元に戻ってきて地域を盛り上げようという気持ちで持てるように。これは、長いスパンで見えていかなくてはならないと思っています。

今年6月、仁尾小学校の6年生53人に地域防災リーダーを委嘱しました。30年後には、児童たちが地域のリーダーとなつてがんばってくれると思います。

**井本** 三野でも、中学生までは地域のさまざまな団体がかかわって、子どもたちと交流しています。あさつも、子どもたちのほうからしてくれそうです。でも、高校生になると、とたんに交流がなくなる。もっと関わっていくべきだと思うのですが。

**西山** 仁尾では、近隣の高校生との交流にも力を入れています。善

私たちはもっと地域を知らなければならぬ。知ることから地域を好きになっていくんだと思います。今年、高瀬高校の生徒が推進隊の会員になりましたが、驚いたことに、荘内半島の場所を知らなかったんです。すぐ近くにあるのに、行ったことがない。恐らく、家族も地元に興味がなから、今まで子どもを連れていったことがないのでしょう。そういう人は「三豊市には何もない」と思っているのかもしれない。

でも、三豊市には本当に何もないのでしょか。自然、歴史など、すばらしいものがいっぱいある。地元の人はもっと地域を知るべきです。

**市長** 地域に愛情を持てる教育は、今後、特に大切になってくると思います。これについても、推進隊といっしょに考えていかななくてはならないと思っています。

### どう思う？ 受益者負担

**市長** 現在、市内の公共施設の利用においては、使用料の減額や免除などにより「行政イコールただ」



まちづくり推進隊豊中  
理事長 藤田 芳廣さん

という固定概念を市民に植え付けてしまっています。しかし、その無料になっている部分を利用していない人が税金で負担するのはバランスがおかしいと思います。今後は、利用者がお金を払って平等感を得る方向で施設の運営をしていきたいと考えています。行政がこの流れを変えるのは難しい。その点、まちづくり推進隊は自由に経済活動もできるので、柔軟な対応ができると思うのですが。

**高木** 受益と負担の問題は、推進隊の中でも起こっています。推進隊発足当初は、予算もある中で「こういった事業をやりたい」という提案があれば審査の上で実施してきましたが、2年目に入り事業が増えてきたので、見直しをする必要があると考えています。例えば、健康づくり事業は「参

加者イコール受益者」なので一部有料にしたいと思っています。しかし、里山登山道の整備事業は地域環境全体の改善になりますし、利用する不特定多数の人からお金をいただくのも難しい。限られた予算を有効に使うために、事業の見直しは必要と考えます。

**藤田芳** 豊中では4月から、自主事業として豊中コミュニティセンターと不動産の滝カントリーパークの指定管理者になりました。この施設の利用料金については大半が無料でしたが、10月からはすべての利用者から利用料金をいただいで活動を行っていく予定です。

経費面で予算オーバーにならないように、あまりお金をかけずにやっていきたいと考えています。そのためには利用者を増やす必要がある。コミュニティセンターで夏休みを利用した親子のふれあいの場を提供して、推進隊の活動についてPRしていくなど、創意工夫をしていきたいと思っています。

**市長** まちづくり推進隊豊中が不動産の指定管理者になってくれたのは、一つの大きなきっかけになると思っています。

通寺第一高校のデザイン科の生徒とは、毎月1回会合を開いて、仁尾についての意見を聞かせてもらっています。

生徒たちは仁尾町外の子どもたちばかり。生徒たちから見たら、仁尾町はどのように見えるのかなと思いましたが、その発想はすばらしい。私たちは「仁尾イコール過疎の町」と思っていますが、生徒たちからは「仁尾は過疎じゃない。これからいくらでも繁栄する町になりますよ」という励ましの言葉をもらいました。今年は香川高専とも連携していく予定です。

**高木** 西山さんの話は、長期的なことにつながる重要なことだと思います。大学進学などで外に出る人が多く、地域に残っている人は少ないのが現状です。将来的に、外に出た人が戻ってくるためには、



まちづくり推進隊高瀬  
理事長 高木 知巳さん

推進隊には、誰もが公共サービスの提供者にも受益者にもなれる「新しい公共」の時代の先駆けになってほしいし、収益性のある事業にも取り組んでほしい。そうす



三豊市長  
横山 忠始

ることで市民が自立するし、町が強くなっていくと思います。

人口の減少や少子高齢化、価値観の多様化が進み、行政だけが市民の生活を支える時代は終わりました。限りある税収を有効に使うためには「行政サービス」は必要最小限まで縮小し、民間企業やNPO、市民の知恵と行動力が発揮される「公共サービス」は、その充実が求められています。皆さんの活動範囲は、今後さらに広がっていくと思います。

今日は推進隊の現状や今後についての貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。